勞働爭議に對する商業會議所の聲明書發表決定

一昨日總會にて 廿八日午前十時より勞働爭議に關し總務部會を開き

別項委員の原案を附議し協議の結果、左の如く聲明書を發表することに決定した

勞働問題に關し我商業會議所は夙に之れが研究を遂げ……

川西、田中、岡本、林、菊池、小泉（［illegible］）、大井、和田、……諸氏

一般的勞働問題に對し聲明書を發表することに決し、更に三十日江木氏之れが原案を作成し四時半散會せる が 其內容は

勞働問題に對し政府は……全く無理……

この聲明の內容は次の如し……

勞働爭議の上奏文

勞資兩階級の大臣に請願書

元兵庫縣知事三谷寺吉氏は勞働爭議の上奏文と勞資兩階級の大臣へ請願書を提出した……

勞働爭議を終熄し之が防止に努むる根本に於ては勞働組合法の制定に待たざる可らずとし……

廿八日上奏文及之に伴ふ請願書を內閣に呈出した

神戸市兵庫區……町二丁目

七十八番ノ一

……作業　三谷　寺吉

明治十九年三月九日生

勞働組合法制定請願の件

主旨

勞働組合法を制定し速かに勞働問題を解決せられたし

理由

歐洲戰爭以來我國の產業は益々發展し一方に於ては國民の思想一變し殊に無產者階級は有產階級に對し自己の識見と自由を要求するに至りたるは是れ無產階級が向上したる結果に外ならずして國家として最も喜悅に堪へざるべからず

然るに昨今各地に於て勞働爭議の頻發するや有產階級は是れを以て一部の煽動より起るものとなし一般の勞働爭議の要求を見るに前述の如く識見と自由を要求する所以のものは一部の煽動及外來思想より起るものに非ずして產業の發展と共に益々增進する重大問題にして是れが合理的解決に努めずして唯勞働者の非なりと排し武力と權力を以て壓迫せんとするが如きは……

又臨機應變の旗印

休業明けの會社の觀測

第一日は入場千名もあれば……

昨廿八日限り休業を解くと共に永く封付けられた通用門を今朝一齊に開放する三菱川崎の兩社は「作業の大部分が開始の問題も紛る」とし……

第一日の入場者は千名もあれば好成績と見て好い……

争議團では同分就業申込者中にも……

……出來ぬ者もあるでせうから……

……以て直ぐに……は何とも言へませんと言ひ……

の七名は……

……取調べを受けた

主謀職工竹下……（二九）旋盤工……（二八）……

沿道にひつかゝつた

勞働爭議最初の犧牲

電正會員青柿善一郎氏の

過激演說の公判

川崎電正會委員青柿善一郎君が六月廿六日本願寺の演說會で過激な演說を爲し又造船所附近でも同樣な演說をしたと云ふので本月十八日治安警察法違反として起訴され翌十九日檢事の請求に依つて收監された事は既報の通りであるが

其公判は二十八日午前十一時から神戶地方裁判所第一法廷で西田判事係り武谷檢事立會の上開かれた、何分にも勞方の職工を市民の耳目を聳動せしめてゐる勞働爭議の犧牲としての最初の事とて午前九時頃から傍聽者が押掛け開廷前既に法廷は立錐の餘地なき迄に……

滿員となり……多數の私服警官……

……

武裁判長は……被告は六月廿六日午後七時三十日の……本願寺で過激な演說をした事實に就て……

一時四十五分開廷

……本願寺に於て演說者の……

十二日以來……

煽動で「ある」と「無」い

檢事は煽動として一ヶ月求刑

辯護人は無罪を主張

被告は……に從ふものであつて

二十六日演說の要旨は……

……

本願寺で演說の際に對して……

以て……が「ハイ祭つて申しました」「然らば」

……を以て……

か」「ハイ賀川さんは……」

んと申されますが私は……

……勞働者に有利な……

……

るのです」と述べ午後一時休憩した

十二日の……

……して來たが……

伊……である……

……

「暴行……」は……

……である」と……

……辯護人は『被告に對しては罰金刑が相當である』と云ひ

……辯護人は「被告が煽動の……」

……

……である……

勞石所

……長は「入場者は……工場內で勞働歌を高唱しての行進は……秩序を紊すものがあれば……會社は……

……捨てゝ置きませんが、其の他は……と思ふ……

……は國際勞働會議の趣旨を取ります」

そのみで……多くを語らない……

……十一時……會社は幹部……

亂暴警戒

鋭く光る檢束七名

……三菱爭議團……

……

爭議團

……

大演說

……

……兩造船所……

闘に會

……

川崎職工一萬五千人の

神社參拜

川崎造船所は從業員の總退出にて騒擾……二十八日……約一萬五千人……神戸（電話）